

令和元年度 第2回八王子市食育推進会議	
日時	令和元年9月19日(木) 13時30分～15時
場所	八王子市保健所 別館1階
出席者氏名	委員 浦野慎一、大村香織、小池さとみ、佐藤咲、瀬々義之、土門陽子、橋本直樹、藤塚康子、星野厚子、松岡誠子、松本勉、峯尾誠、山本徹、米津元一
	事務局 原田美江子健康部長 栢野健康増進担当課長、松浦主査、土井、山尾
欠席者氏名	河村智里、内藤里美
テーマ	(1) 市民意識調査対象者について (2) 市民意識調査(18歳以上対象)について ・市民意識調査(18歳以上対象)に係る御意見、及び平成27年度調査との比較 ・最終案について (3) 市民意識調査(幼稚園児、保育園児、小学生の保護者対象)について (4) 市民意識調査(中学生、高校生対象)について
傍聴人	なし
配布資料	〈当日配付資料〉 ・資料1: 第3期八王子市食育推進計画策定に係る市民意識調査の対象者について ・資料2: 意識調査(18歳以上対象)最終案 ・資料3: 市民意識調査に係る御意見及び新旧対象表(18歳以上対象) ・資料4: 新旧対照表(幼稚園児、保育園児、小学生の保護者対象) ・資料5: 市民意識調査(案) ・資料6: 平成27年度市民意識調査
議事	
1. 開会	
発言者	内容
健康部長	・開会挨拶 本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。今回は、食育推進計画づくりに関する市民意識調査を行います。この調査によって、八王子市民の食事の状況がかなり掴めると思います。ぜひ皆様それぞれのご立場でご意見をお願いします。
2. 議事	
(1) 市民意識調査対象者について	
発言者	内容
事務局	対象者の方について説明させていただきます。  1 市民意識調査 (1) 調査対象①八王子市在住の18歳以上74歳以下の男女2,000名を無作為抽出します。②帝京大学学生100名～200名をお願いします。

	<p>(2)調査時期は、令和元年の10月中旬から2週間程度です。</p> <p>(3)調査方法は、郵送にて送付します。郵送又は電子(インターネット)回答です。</p> <p>2 子ども意識調査</p> <p>(1)調査対象は、保育園・幼稚園4歳児(年中)、5歳児(年長)の保護者の方、小学5年生の保護者、中学2年生、高校2年生で考えています。対象者は、昨年度子どもの貧困調査を行った際に、同じ対象者で調査したので、それに合わせました。対象箇所は、以下の表になります。幼稚園は、浦野先生にお願いしていただき、来週までに決めていただけるという事でした。保育園は、保育園協会にお願いしております。小学校は、6校にご協力頂いております。公立中学校は、今週中学校長会でアンケートにご協力頂いて選考を進めていて、来週中にはわかるという事でした。</p> <p>(2)調査時期は、令和元年10月中旬から2週間で同時期に実施したいと思います。</p> <p>(3)調査方法は、各校にて配布・回収します。</p> <p>(4)その他、保育園、幼稚園、小学校については、保護者に回答をお願いし、保護者に対する調査も行います。</p>
<p>委員</p>	<p>市民意識調査では、いくつか地域があります。以前のデータで地域ごとの園による偏りはありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>保育園の場合ですと、お子さんの特徴というよりは、保育園の特徴がわかってきたことがあります。今回の選び方は、地域が別れるように選ぶようにしましたが、保育園協会さんや幼稚園協会さんに希望を伝えている中で、園の規模もあり、少し偏りは出ていますが、こちらの方法でやらせて頂ければと思います。園長会の方でも、調査の協力に対して手を挙げて下さるところも増えました。</p>
<p>委員</p>	<p>協力してくれる保育園は以前と変わっていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>変わっています。</p>
<p>委員</p>	<p>対象となる保育園、幼稚園が地図上で把握できるといいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>対象が中学2年生と高校2年生で、いつもの食生活を見るならばこの方法でいいですが、中学3年生や高校3年生は受験期にあたるので、塾などで夜ご飯を食べる時間が遅くなり、ファーストフードなどで済ましてしまう事も多く、食生活が乱れがちなのではないかと思います。その年代は、忙しいためアンケートに答えるのは難しいと思いますが、調査も必要だと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>小学6年生、中学3年生、高校3年生は受験の時期となり、食生活だけでなく生活全体も乱れて夜型になる時期です。アンケートの回答率のことも考え、一般的な回答を取りたいという事であえて外しました。</p>

(2) 市民意識調査 (18歳以上対象) について	
発言者	内容
事務局	<p>資料2、資料3を用いて説明します。委員の皆様には、資料を事前に送り、ご意見を頂きました。それをまとめたものが、資料3になります。全て説明していきたいですが、お時間の都合で少し省略させていただきます。</p> <p>資料3の問2②です。資料2の問2をご覧ください。「食育」に関する事でのようなことに関心をお持ちですか? のところで、「痩せ」と「肥満」について、前回の調査と同様に対象者を絞った方がよいのではないかと。というご意見を頂きましたが、働き盛り世代の肥満や若者(特に若い女性)の痩せの問題も課題ではあるが、子どもの肥満や高齢者の痩せに関する課題も出できていて、痩せや肥満は、全ての世代に注目して見ていく必要があると考えたため選択肢に入れました。</p> <p>資料3の問5です。資料2の問5をご覧ください。朝食1食に何を食べたか聞きたい設問です。聞き方もいろいろと考えましたが、昨日の朝食は何ですか? というシンプルな設問にしました。菓子パンや総菜パンを食べている子どもが多いと考え、そうすると菓子パンや総菜パンを食べている大人も多いと考え、選択肢に追加しました。</p> <p>資料3の問8です。高齢者のたんぱく質摂取量について把握する必要があるというご意見を頂きました。この市民意識調査は、全世代を対象としているものであり、野菜摂取や脂質、塩分についての設問はあります。また、生活習慣病を視点において設問を考えています。たんぱく質摂取についても重要であると考えていますが、対象者が限定されている事や、アンケートの設問数も増えて回答率が下がることを考え除外しています。</p> <p>資料3の問10です。「ベジタブルファースト」という言葉やその意味を知っていますか? の設問で、「ベジタブルファースト」とは、「高齢の方など食欲が無い場合や低栄養の心配がある方は適さないこともあります。」の追加のご指摘を頂きました。資料3の問11で、ベジタブルファーストを日常の食事で実践していますか? の設問もあるので、説明については、「生活習慣病の予防に効果がある」とあえて入れています。ベジタブルファーストを実践している高齢者が多いのであれば、ベジタブルファーストの周知・啓発を行いたいと考えています。</p> <p>資料3の問12です。高齢者も含めて、配食サービスを利用する方も多くなってきています。中食の説明は、具体的な内容を書いていたのですが、幅が広いので中食という言葉でまとめました。一般市民の方は、「中食」という言葉に聞きなじみの無い方も多いと思います。中食とは、買ってきたおにぎり、サンドイッチ、惣菜や宅配弁当の利用や出前で買ったものを自宅や職場や学校等で食べる事という注釈を入れて中食の設問にしました。</p> <p>資料2の問6です。共食の設問になっています。地域食堂についても話が出ていたのですが、高齢者の孤食が多いのであれば、これから地域食堂のニーズはあるのかと思います。子どもの孤食が多いのであれば、子ども食堂のニーズも高まるのではないかと思います。孤食の観点から認知度を図って共食の施策に繋げていきたい</p>

	<p>と考えていますので、地域食堂については見送らせて頂いています。</p> <p>資料3の問18です。食の安全・安心の部分について、放射性物質の事も入れたほうが良いのではないかという事について、前回の第2期では入れていましたが、今回はあえて外しています。本市の施策でも検討中であるため、選択肢からは外していますのでご理解いただければと思います。すべて大事であるというご意見も頂いているので、設問の聞き方を「気を付けている」を「特に気を付けている」に変更しました。</p> <p>今説明しました資料2については、事前に皆様に送らせて頂いたアンケートからご意見を頂いたものを参考にして修正をしてきました。事務局での誤字脱字なども修正しました。ある程度最終的な決定の用紙にしたものが、今お渡しした資料2になっています。事前に皆様に郵送させて頂いた内容とだいぶ変更になっているかと思えます。そして事務局から今説明したところは、大きく変更があったところを詳しく説明させて頂きました。設問の流れは、皆様に送ったものとあまり変わっていないです。</p>
委員	<p>対象者が74歳以下という基準がありますが、この年齢にした理由はありますか。一般的に74歳は、自炊が出来ると思えます。年代が上がってくると食生活も違ってくると思えます。</p>
事務局	<p>74歳以下にした理由は、上位計画である保健医療計画を本市で作成しており、そちらに合わせています。</p>
委員	<p>75歳以上を食育の推進に関して、対象外にするという事ではないですか。75歳以上の方の食生活も把握した方が良いと思えます。</p>
事務局	<p>対象外にはしません。アンケートの内容について、高齢者を含むと設問設定も検討する必要があり、今回は一般的な部分を調査する意図で作成しています。高齢になる方の食生活は、別途関係機関と連携を取っています。あまり知られていない地域食堂や、高齢者の事についても食育全般で取り組み、それぞれの所管と連携していきます。</p>
委員	<p>「昨日の朝食は何ですか？」の設問で昨日に限定した理由はありますか。1週間ではだめなのですか。</p>
事務局	<p>昨日と限定しても食べていない人もいるかもしれないです。1週間にすると、あれも食べる、これも食べる、それも食べるというように、あてはまるものすべてに○をなので、ごはんも食べるし惣菜パンも食べるしとなってしまう、ある程度「昨日」と限定しました。昨日が土曜日、日曜日であった場合、普段の食事とは違うかもしれないので、平日の特定された日など考えましたが、その日が土曜日や日曜日または食べなかった日であったとしても、無作為抽出した方が昨日何を食べたのか、純粹に調査することにしました。</p>
委員	<p>中高生が昨日の朝食を覚えているのでしょうか。また資料5の問9で1日に必要な野菜摂取量350gの量がわかるのでしょうか。野菜の区別も人によって違うと思えます。</p>
事務局	<p>野菜350gをご存じの方がいるのかどうか考えました。前回の調査では、「野菜</p>

	<p>350g を摂取していますか。」という設問でした。実際に自分が1日350g 摂取しているかわからないので手ばかりや小鉢で示すことを検討しましたが、野菜摂取量の調査は、国が別で調査もしているので、ここではあえて認知度を調査する事となりました。</p>
委員	<p>スムージーが何か分からない方もいると思うので、注釈や説明を付けた方が良いと思います。</p>
事務局	<p>注釈をつけます。</p>
委員	<p>スムージーは乳製品ですか。</p>
事務局	<p>作り方によって味は変わってきます。ヨーグルトを入れる方もいれば、野菜や果物で作る方もいます。</p>
委員	<p>朝食を食べるか食べないかが問題になっていますが、朝食を食べなきゃいけないわけではないと私は思っています。そもそも食事は、100年くらい前、3食ではなく2食でした。エジソンが食事の回数を2回から3回にして、朝食を作ったと言われています。それまで2食だった食事で、人は健康に暮らしていたと思います。秋田県の小学生は、全国の中でも朝食を食べている率が高いのですが、平均寿命がワースト3です。朝食を食べなければいけないイメージを付けるような設問になっていると思います。</p>
事務局	<p>昔の疫学的なデータもありますが、現代の基本的な生活において疫学的なデータをみると、食生活の違いで健康への差が出ています。以前の生活と現代の生活は違います。現代の日本の生活では、朝食を食べる方が健康状態が良いというデータが出ています。</p>
委員	<p>秋田県の例でもありますが、朝食の摂取の有無と平均寿命の相関は無いと思います。</p>
事務局	<p>食べ方の内容も関連するかと思います。</p>
委員	<p>朝食にこだわってその質問をすると、朝食を食べなければいけないと捉え方を間違える方もいるかもしれません。</p>
委員	<p>食べなければいけないとわかっていても、仕事で忙しいため食べる時間が取れない方もいます。食べるか食べないか、主たるものはどっちなのかと思います。</p>
事務局	<p>子どもの調査とも繋がってくる項目と考えています。朝ごはんを食べないで学校に来るお子さんもいると思います。子どもにとって、朝ごはんは一日の活動に大切です。どれくらいの年齢から朝ごはんを食べなくなる子が増えてくるのか把握できれば良いと思います。前回の調査でも20代、30代、40代の男女比で見た場合に男性は、20代、30代くらいから朝食を食べなくなります。女性は、子育てをしながら食べるので、年齢によって急に下がったりはしないことが見えてきました。朝食＝健康という流れもありますが、朝食を食べない子は、家が朝食を食べる習慣がないので、親も何を朝食に準備して良いのか分からないという方も増えてきています。次世代の健康のために、把握したい内容です。</p>
事務局	<p>実際に幼稚園や保育園でのお子さんの様子はどうですか。</p>
委員	<p>園では、午前中が活動の中心になっています。朝食を食べてくる子と食べてこな</p>

	<p>い子では活動の違いがわかります。大人は、食事管理を自分で出来ますが、幼児や乳児は大人が食事の管理をするので大事なことだと思います。</p>
委員	<p>問 18 です。原材料や原産地などの食品表示についてです。</p>
事務局	<p>昨今、海外で加工された食品の事件や事故が起こっていますが、市民の方が食品を選ぶ際にどの程度注意を払っているのか意識を聞いてみてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>原産地のことは、生活衛生課に相談し、後日ご回答します。</p>
事務局	<p>問 13 です。先日レストランに行った時に写真の量よりも実際は多い量でした。その際に、残してしまった食べ物を持ち帰りのケースに入れてくれて助かりました。メニューによっては、持ち帰れない物もあるとは思いますが、このようなサービスもあると良いと思います。また、料理の写真を撮るために、大盛りにする方も最近が多いようで店側のクレームにもなっています。</p>
委員	<p>中国に在住している時は、食べ残しを、紙パックなどに入れて持ち帰る事もありました。以前は外食したものを家に持ち帰ることができなかつたように思います。ここ最近では、食品ロスの関係から、様々な対策が出てきているように感じます。</p>
事務局	<p>保健所の立場では、衛生的な観点から食べ残しの持ち帰りを推奨することは課題があります。そこで、選択肢に入れた小盛りメニューや小盛対応ができるサービス必要だと思います。</p>
委員	<p>資料 2 の問 8 です。主食・主菜・副菜をそろえてとるとありますが、主食・主菜・副菜のどの部分がどの世代で不足しているのかわかると良いと思います。例えば、高齢者のタンパク質摂取不足や、学生の野菜摂取不足、カップ麺ばかりで主食は摂れているが、主菜は摂れていないなどの問題がみえてくるのかと思います。健康日本 21 の中間評価でもこのあたりが全然改善されておらず、日本全体の課題になっていると思います。具体的にどこの部分に課題があるか見えてくると、ベジタブルファーストの推奨等の具体的な取り組みに繋がってくるのかと思います。飲食店もメニュー提案をする時に 1 皿でも野菜を提供することで改善に繋がると思いました。今後また調査をする時は、似たような質問があってもいいのかと思いました。</p>
委員	<p>中学生で主菜・副菜と聞いてイメージ出来ない子もいると思うので注釈を付けた方が良いと思います。</p>
委員	<p>中学生になるとわかるかもしれませんが、小学校 5 年生くらいだと習い始めたばかりなので注釈はあった方が良いと思います。</p>
事務局	<p>問 5 の選択肢 1 から 3 に一応主食、主菜、副菜の説明は記載しております。頂いた意見を参考に注釈を入れたいと思います。</p>
委員	<p>問 5 です。選択肢 1～6 は、良い食事の項目で、選択肢 7～14 は、良くない食事の項目になっていると思います。保護者が正直に書くでしょうか。良い食事のところが、大まかにまとめられていて、良くない食事の方は、菓子パン、お菓子、ゼリーなど細かく書き起こされていて結果の出方に影響がでる気がします。</p>
事務局	<p>問 5 は、食事の内容を問うものです。主食・主菜・副菜をどのくらいの割合でとっている人がいるのか。いないのであれば、単品の食事が多い事が考えられます。単品の食事に関しても、すごく幅があると思います。スムージーであれば、許容範</p>

	<p>囲であるかと思いますが、菓子パンやカップ麺やレトルト食品は、単品であっても望ましくないので、細かく何を食べているか知りたい設問です。1品であったら、何を食べたのか知りたい設問で、このような経過になりました。ご指摘の通り、良いものは、ひとまとめにあって、悪いものは、細かく記載してあると思います。例えば4つ〇をした方が、その4つにどのような傾向があるのか分析をして、その中での評価を考えたいと思います。</p> <p>委員 問5です。100%果汁のものは、果物とジュースどちらに入るのか、あいまいな選択になると思います。清涼飲料水と100%果汁のものは、同じジュースのくくりに入れてしまっても評価の際に影響はでないでしょうか。</p> <p>事務局 果物と100%果汁のものは区別が出来ると思います。100%果汁ジュースと清涼飲料水は分けて記載するか検討します。野菜ジュースの区別も検討します。ジュースの区別があると設問が増えてしまうため、なかなか難しい現状もあります。</p> <p>委員 問5です。おにぎりとありますが、チャーハンをおにぎりにしたものなど、種類もたくさんあり、おにぎりはごはんにまとめていいと思います。</p> <p>委員 問23です。食育活動に参加したことがありますか？の設問ですが、一利用者として継続しているという事か、参加・登録をしていて運営側として継続的に行っているという事か、どのような内容を聞きたいのですか。比較的高齢者の場合だと、多くは自分の健康管理のために行っている積極的な利用だと思います。</p> <p>事務局 こちらの意図としては、ボランティアであっても運営側が参加している場合です。表現がわかりにくいので修正したいと思います。</p> <p>委員 問23です。子ども食堂や、地域食堂などの地域の食育活動がどこで行われているのですか。マップ等があるとわかりやすいです。</p> <p>事務局 子ども食堂は、市内で民間企業と連携して行っています。市民に周知されていないのでこの結果を基に、周知の方法を考えていきたいと思っています。</p>
(3) 市民意識調査（幼稚園児、保育園児、小学生の保護者対象・中学生、高校生）について	
<p>発言者</p>	<p>内容</p>
<p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>保護者の方へのアンケートですが、問2・問9・問10・問11などお子さんと同じ内容の質問にしています。</p> <p>問8は先程と同様です。惣菜パン・菓子パンが加わったことで選択肢が具体化されてよいと思います。</p> <p>問10です。学校給食は、含まれますか。設問に「学校給食は除く」を付け足した方が良いと思います。中高生も同様です。給食は、中食なのか外食なのか迷ってしまうと思います。※のところ、中食の説明がありますが、学校等が入っているのでわかりにくいと思います。我が家は、外食も中食も冷凍食品も使っているので、だいたい左に〇を付けると思います。それと、この調査ですが、選ばれ方によっては、保育園と小学生など兄弟で配られるところも出てくると思います。また、最後の「同封の返信用封筒に入れていただき、担任にお渡しください。」のところですが、いただきの後に「封をしていただき、学校(園)を通して」を付け加えた方が良いと思います。</p>

	<p>中高生の意識調査の問3です。外食のところに(給食を除く)を付け足した方が良いと思います。給食はどっちに入るか迷わないようにする方が良いと思います。</p> <p>問5です。選択肢が少し偏っているような気がしました。中学生・高校生は、社会科や家庭科の授業で食品添加物や産地やアレルギーの事も勉強しているので、そのような選択肢も追加した方が良いと思います。</p> <p>問9です。問9の『食育』と問10の『食』の違いがわかりにくいです。問9は食育の中で扱うべき内容は何ですか。食育の中で特に関心を持ったものはどれですか。食育の中で聞いたことがある言葉は何ですか。など聞き方を工夫した方が良いと思います。</p> <p>問10です。「食に関する事で正しい情報を知りたいことはどのような事ですか。」のような聞き方の設問が良いと思います。選択肢1や2は、どちらかという問9の選択肢のような気がします。</p> <p>問11と最後に記載する体重です。この設問は、意味のある評価になりますか。自分の体重をどのように評価しているのか、体重の記載も難しいところもあると思います。</p> <p>問11です。体型のイメージと、身長体重の記入も難しいところですが、BMIを算出して実際のBMIとボディイメージの相違はあるか問うものです。</p> <p>痩せや肥満など自分の見た目についてですが、問9の『食育』の選択肢よりも問10の『食』の選択肢にあってもいいと思います。また、問9と問10の差が分かりにくい部分です。</p> <p>問9と問10です。問9では、今まで食育に関する事で何に関心をもってやってきたか問うもので、問10は、これから何を知ってやっていきたいか問うものです。</p> <p>設問に工夫が必要だと思います。「食育にについて学んだ内容で印象に残っていることは何ですか。」または、「食育に関して、関心を深めた内容は何か」等が良いと思います。</p>
事務局	<p>小学校で学んだ食育で何が印象に残っているのか、何に関心を持っているかがわかる設問にしたい意図がありました。選択肢を検討したいと思います。</p>
委員	<p>問4です。食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をしていますか。の設問ですが、家庭によって挨拶は違う場合もあるので、「等」を付け加えた方が良いと思います。</p>
委員	<p>問5です。選択肢8の「ながら食べ」の意味がわかりにくいと思います。テレビを見ながら等、具体的な例で分かりやすい選択肢に変えた方が良いと思います。中高生にはこの設問はありますか。</p>
事務局	<p>中高生には、この部分は聞いていないです。</p>
委員	<p>問12です。この設問の内容は伝わるでしょうか。</p> <p>選択肢1の健康な体をつくる食についてと5の八王子産の農作物についてですが、選択肢の内容の大きさが違うところは気になりましたが、答えに迷うところはなかったです。</p>



事務局	農業祭など最近は行われなくなった気がします。八王子の農産物は何ですか。と尋ねても答えられる方がいなくなりました。
委員	場所を変えて現在も行っております。 保育園・幼稚園の保護者向けのもので何か気になる点はありませんか。
委員	問8です。惣菜パンなども主食でまとめる方が良いと思います。カップ麺も、インスタント食品のくくりにして、その中にカップ麺、レトルト食品等に分けた方が良いと思います。おにぎりも、具無しおにぎりとう具有りおにぎりの区別もある方が良いと思います。
事務局	問12です。選択肢に食べることの大切さも追加した方が良いと思います。検討させていただきます。
3. 連絡事項	
(3) 市民意識調査（中学生、高校生）について	
発言者	内容
事務局	幼稚園児、保育園児、小学生の保護者対象向けのご意見とあわせて御意見をいただきましたが、他に御意見がありますでしょうか。  それでは時間が迫っていますので、以上とさせていただきます。 いただいた御意見について事務局で検討させていただきます。
発言者	内容
事務局	内容を修正した上で、来週メールで送ります。9月26日には原稿を入稿しなければいけない部分があります。皆様から頂いた意見をもとに、考え直さなければいけない箇所や表現を直すところや、選択肢の並べ方など事務局で調整します。また再度確認して頂ければと思います。  次回の会議は、議題を「市民意識調査結果の中間報告」とし、開催時期は、1月23日(木)13:30～保健所別館で行いたいと思います。日程が決まり次第ご連絡します。この日は、集計ができていますので、ある程度分析もできていると思います。この日にお見せするのではなく、年明けに送らせて頂くのでご意見を頂く形をとらせてもらいます。会議の日程に都合がつかない場合は、事前に連絡を頂ければと思います。
4. 閉会	
発言者	内容
健康部長	以上で、第2回八王子市食育推進会議を終了します。 御出席ありがとうございました。